

地域を創るバイオマス利活用講座2016 のご案内

－バイオマス関連補助事業の効果的な活用に向けて－

NPOバイオマス北海道

NPOバイオマス北海道では、昨年度に引き続き、今年度もバイオマスの利活用を検討されている自治体のご担当者、民間でバイオマス利活用の推進に取り組まれている皆様を対象として講座を開催することにしました。**地域に眠っているバイオマス資源を、地域振興（活性化）のために、有効活用することを考えてみませんか。**その一つのヒントをより現実的に提供するために、**本講座では、専門家による講演の後に、参加者との質疑応答や講演者とのディスカッションの時間を十分に設けることにし、またご希望の方には個別に相談に応じることにいたしました。**

平成28年度は、「バイオマス関連補助事業の効果的な活用に向けて」と題して、3回の講座を開講いたします。複数回の受講も可能です。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

NPOバイオマス北海道 理事長 古市 徹

■ 参加費：無料

■ 「昨年度の開催状況」および「申し込み方法」、「お問い合わせ」は、裏面をご参照ください。

第1回【終了】 9月2日(金)13:30~17:00 北海道大学工学部 B12教室	第2回 10月14日(金)13:30~17:00 北海道大学工学部 A101教室	第3回 12月2日(金)13:30~17:00 北海道大学工学部 A101教室
<p>プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 総論1 藤山淳史氏（NPOバイオマス北海道理事、北海道大学特任助教） バイオマス産業都市など国等の補助制度の動向について 松永和敬氏（北海道環境生活部環境局循環型社会推進課バイオマスグループ主査） 地域の物質・エネルギー収支の試算方法について 石井一英氏（NPOバイオマス北海道理事、北海道大学准教授） 稚内市における再生可能エネルギーの取り組みについて 古川裕輝氏（稚内市環境水道部部長） <p>内容</p> <p>バイオマスを含む再生可能エネルギーの普及に向け、国は様々な補助制度を作成し、支援を実施しています。新たにバイオマスの利活用等を検討する自治体や事業者は、その利用に向け、検討されるかと思いますが、どのような支援制度があるのか、また、様々なツールを用意されているにもかかわらずその使用方法が分からないという声をよく耳にします。そこで、第1回目の利活用講座では、バイオマスを中心に補助制度の動向をご紹介頂くとともに、申請書を作成する際に記載欄が設けられていることが多い物質やエネルギー収支について、国が公開しているツールや各種統計データなどを用いた試算方法についてご紹介いたします。その後、様々な再生可能エネルギーを対象に、多面的に取り組まれている稚内市の事例をご紹介します。</p>	<p>プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 総論2 藤山淳史氏（NPOバイオマス北海道理事、北海道大学特任助教） 再生可能エネルギーと系統連携 高野準氏（北電総合設計株式会社環境部長） バイオマス産業都市構想を活用した下川町の取り組み 山本敏夫氏（下川町森林総合産業推進課バイオマス産業戦略室グループリーダー） 申請のいろは （パネルディスカッション） コーディネーター： ・石井一英氏（NPOバイオマス北海道理事、北海道大学准教授） <p>パネリスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> 山本敏夫氏（下川町森林総合産業推進課バイオマス産業戦略室グループリーダー） 松永和敬氏（北海道環境生活部環境局循環型社会推進課バイオマスグループ主査） 高野準（北電総合設計株式会社環境部長） 他、調整中 <p>内容</p> <p>昨今、FITを利用する際に話題となっております系統接続等の問題についてご紹介いたします。また、バイオマス関連交付金事業の一つの例として、バイオマス産業都市構想を取り上げ、申請を実際に行った自治体の方から申請に向けての経験談をお話し頂きます。後半のパネルディスカッションでは、実際に申請に取り組まれた方々だけでなく、自治体外からの立場で、申請に向けた助言を行った方々にもご登壇頂き、申請に向けて検討すべき事項や流れなどについて、具体的なイメージを膨らませて頂きます。</p>	<p>プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 総論3 藤山淳史氏（NPOバイオマス北海道理事、北海道大学特任助教） FITとバイオガス発電の最近の動向 金子孝文氏（NPOバイオマス北海道理事、コーンズアンドカンパニーリミテッド顧問） 小林牧場におけるバイオガスプラントの取り組み 小林紀彦氏（有限会社小林牧場代表取締役社長） 当別町の取り組みについての紹介 吉野裕宜氏（当別町企画部エネルギー政策室エネルギー政策係主査） <p>内容</p> <p>2012年に開始されたFIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）に伴い、北海道でも牛ふん尿処理バイオガスプラントを中心に建設が進んできています。現在では、プラントの大型化や牛ふん尿以外の原料の投入を通じた採算性向上の動きがみられることに加え、再生敷量の利用などバイオガスプラントの持つ多機能性の活用も図られてきています。他方では、送配電線への接続の困難性がプラント普及へ障害となるという問題にも直面しています。</p> <p>今回の講座では、北海道でのバイオガス発電の現状や来年度からの改正再エネ特措法の影響などについてご講演頂くとともに、実際にバイオガスプラントを運営されている事業者の方をお招きして、バイオガス化を取り組み始めた経緯や現在の状況についてご講演を頂きます。さらに、今年度NPOバイオマス北海道も協力させて頂きながら、バイオマス利活用の取り組みについて検討されている当別町に、現時点での経過状況と今後の展望についてご講演を頂きます。</p>

地域を創るバイオマス利活用講座2015 (昨年度の開催状況)



【第1回】牛糞尿のバイオガス化
2015年9月11日(金) 13:30~17:00 北海道大学工学部 材料・化学系棟

プログラム

1. 総論 石井一英氏 (NPOバイオマス北海道理事、北海道大学准教授)
2. 牛糞尿のバイオガスとしての利活用 (対談形式+質疑応答ディスカッション)
城石賢一氏 (鹿追町農業振興課瓜幕バイオガスプラント建設準備 室長
兼 環境保全センター係長)
町村 均氏 (NPOバイオマス北海道副理事長、町村農場代表取締役)
金子孝文氏 (NPOバイオマス北海道理事、
コーンズアンドカンパニーリミテッド顧問)

4市町村・5団体・その他一般企業などから、総勢45名のご参加を頂きました。



【第2回】木質バイオマスの燃料利用
2015年11月5日(木) 13:30~17:00 北海道大学工学部 A101教室

プログラム

1. 総論 石井一英氏 (NPOバイオマス北海道理事、北海道大学准教授)
2. 木質バイオマスの熱利用
船越 元氏 (NPOバイオマス北海道顧問)
3. 木質ペレット事業
岩原 榮氏 (NPOバイオマス北海道理事、小川建設工業(株))
4. 質疑応答+ディスカッション

5市町村・4団体・その他一般企業などから、総勢35名のご参加を頂きました。



【第3回】生ごみの資源化
2015年12月3日(木) 13:30~17:00 北海道大学工学部 A101教室

プログラム

1. 総論 藤山淳史氏 (NPOバイオマス北海道理事、北海道大学特任助教)
2. 生ごみ資源化と法律
渡部和正氏 (NPOバイオマス北海道副理事長)
3. 生ごみ堆肥化
山森功一氏 (NPOバイオマス北海道理事、北海道衛生工業(株))
余湖 智氏 (恵庭市(有)余湖農園 代表取締役)
4. 生ごみのバイオガス化事業について
石川雅敏氏 (滝川市市民生活部次長)
5. 質疑応答+ディスカッション

道、6市町村・6団体・その他一般企業などから、総勢41名のご参加を頂きました。

地域を創るバイオマス利活用講座2016 (申し込み用紙)

本紙にご記入のうえ、FAX (011-706-7583) でお送り頂くか、
同様の内容をメールにご記入のうえ、(biomass_hokkaido@yahoo.co.jp) へお送り下さい。

ご氏名	①ご所属、②電話番号、③メールアドレス	受講希望の講座 (○を付けて下さい)
	① ② ③	() 第1回 (9/2) () 第2回 (10/14) () 第3回 (12/2)
	① ② ③	() 第1回 (9/2) () 第2回 (10/14) () 第3回 (12/2)

※ 各回の申込締切は、各講座の1週間前までとさせていただきます。
(申込締切を過ぎてしまった場合は、事務局へお問い合わせください。)
※ 事務局の方で受講登録した後、受講票を送付させていただきます。

■ 問い合わせ先

NPOバイオマス北海道 事務局
〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院内
TEL : 011-706-7283 FAX : 011-706-7583
E-mail : biomass_hokkaido@yahoo.co.jp



<http://biomass-do.jp/wordpress/>